

こんな新聞 つこ

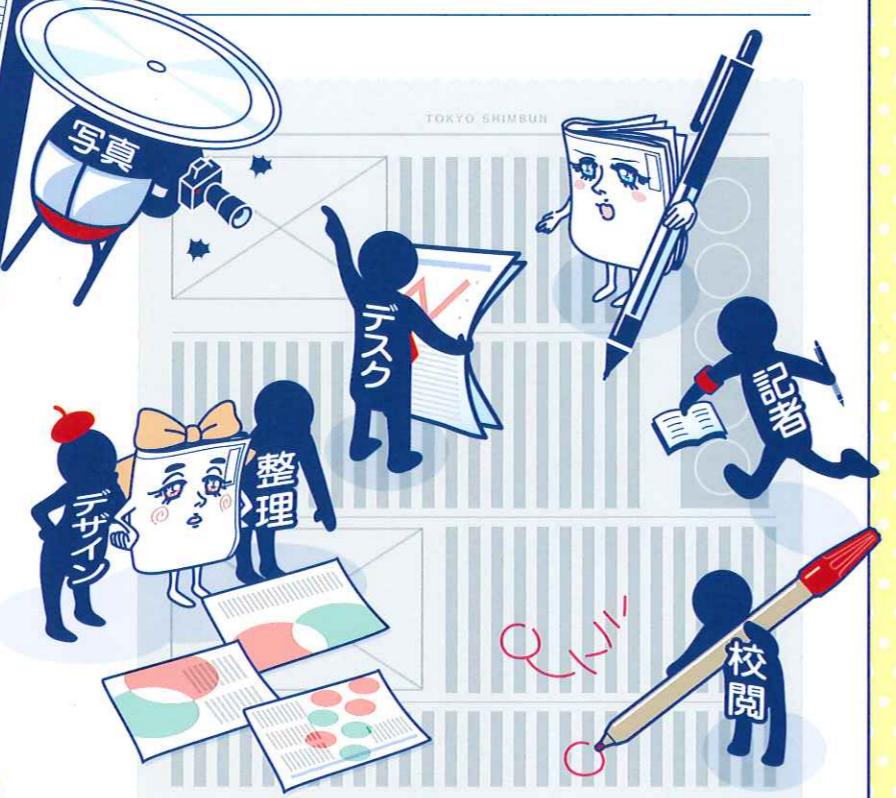


★チョウカンヌ(左)とユウカンヌ(右)
東京新聞のキャラクター。身も心も新聞でできている姉妹

また、ニュースだけでなく、人生の喜怒哀楽を伝える読み物にも力を入れています。貧困や人口減少、税金の無駄遣いといった社会問題を現場で追うのも重要テーマです。

人々がいま、どんな社会や時代を、どんな思いを抱いて生きているのか、それを皆さんに感じ取っていただけるような記事をお届けしています。

- 一面 調査報道 | 地元密着 | 読者発
- 総合面 政治 | 経済 | 国際 | 改憲
- 社会面 事件・事故 | 社会問題 | 読み物



政府や企業の発表に頼らない調査報道 地元密着の首都圏情報

新聞ってどれでも同じ、と思ってませんか？東京新聞は違います。政治ニュースも、経済ニュースも、国際ニュースも「権力者に教えてもらう」ことを出発点にしていません。記者が自分で考え、問題意識を持って、その疑問をもとに取材しているので、**政府PRのような記事ではなく、皆さんの生活の参考になる記事**が提供できているのだと思っています。



こちら特報部 旬の話題

「こちら特報部」は、最もタイムリーな話題を独特の切り口で記事に仕立て上げ、読者に届けます。デスクや記者は、旬の食材で「一期一会」の料理をつくるシェフ的な存在。原発、沖縄、安保からスポーツや芸能にいたるまで、カバー範囲に限界はありません。論客たちが世にもの申す「本音のコラム」や4月1日のエーブリフル記事も一読の価値あり。権力の監視と笑いを同時に詰め込んだスリルあふれる紙面を堪能してください。



TOKYO発 東京情報 | 街歩き | 五輪

多様性。柔軟性。懐の深さ…。最終面のTOKYO発では、そんな大都市・東京の魅力を、東京で暮らす人々の奮闘ぶりを通じて日々、お伝えしています。週末には街歩きの最新情報をイラスト地図に詰め込んだ「東京どんぶらこ」を掲載。2020年東京五輪・パラリンピックに向けて変わりゆく街の姿も追い続けます。



こちら原発取材班 原発の今

毎週水曜日
カラー紙面



難しい印象の強い原発の話を、よりビジュアルに、見て「現場」を実感できる紙面が本欄のコンセプトです。福島各地の放射線量マップや首都圏の放射能データ、福島第一の巨大グラフィックなどを毎週水曜日、カラー紙面でお届けしています。自ら現場で線量を測り、海底の堆積物を採取して科学的に分析。半年に一度は福島第一上空をヘリで飛び、最新の映像を記録し続けています。他紙にはまねのできない紙面と自負しています。

テレビ欄

折りの中心に



東京新聞のテレビ・BS・ラジオ欄は新聞の折りの中心にあります。抜き取ってテレビのそばに置いて使っていたぐと便利です。



大図解 時事 | 科学 | 歴史 | 医学 など

毎週日曜日
別刷り
日曜日

毎週日曜日の別刷り「サンデー版」。見開きで時事問題、最新の科学、医学や歴史の知識から動物や乗り物といった身近なテーマまでカラフルな一覧の図解で解説します。



